

# 電波政策ビジョン懇談会 資料

KDDI株式会社

2014年9月8日

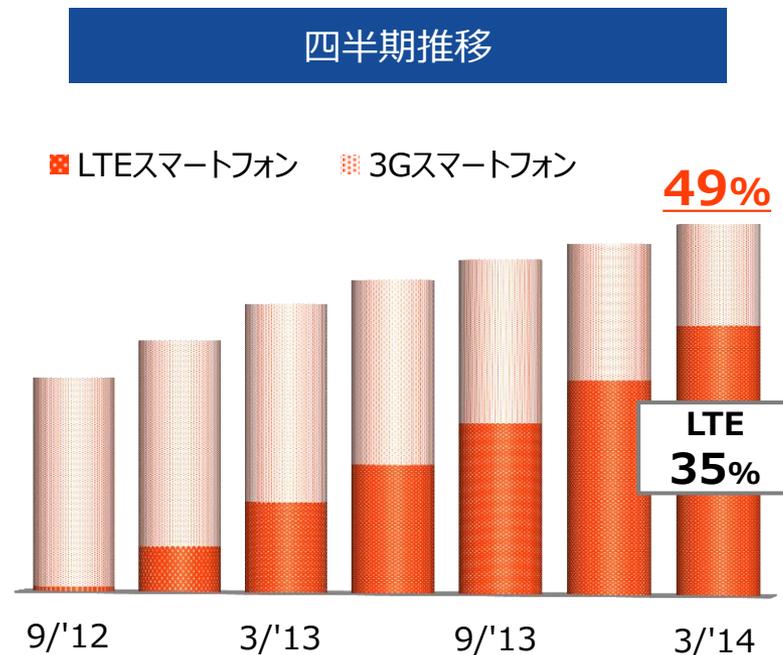


# 通信トラヒック構造

# スマートフォンの急速な拡大

## スマートフォン浸透率<sup>注</sup>

49%まで浸透  
LTEは35%まで浸透



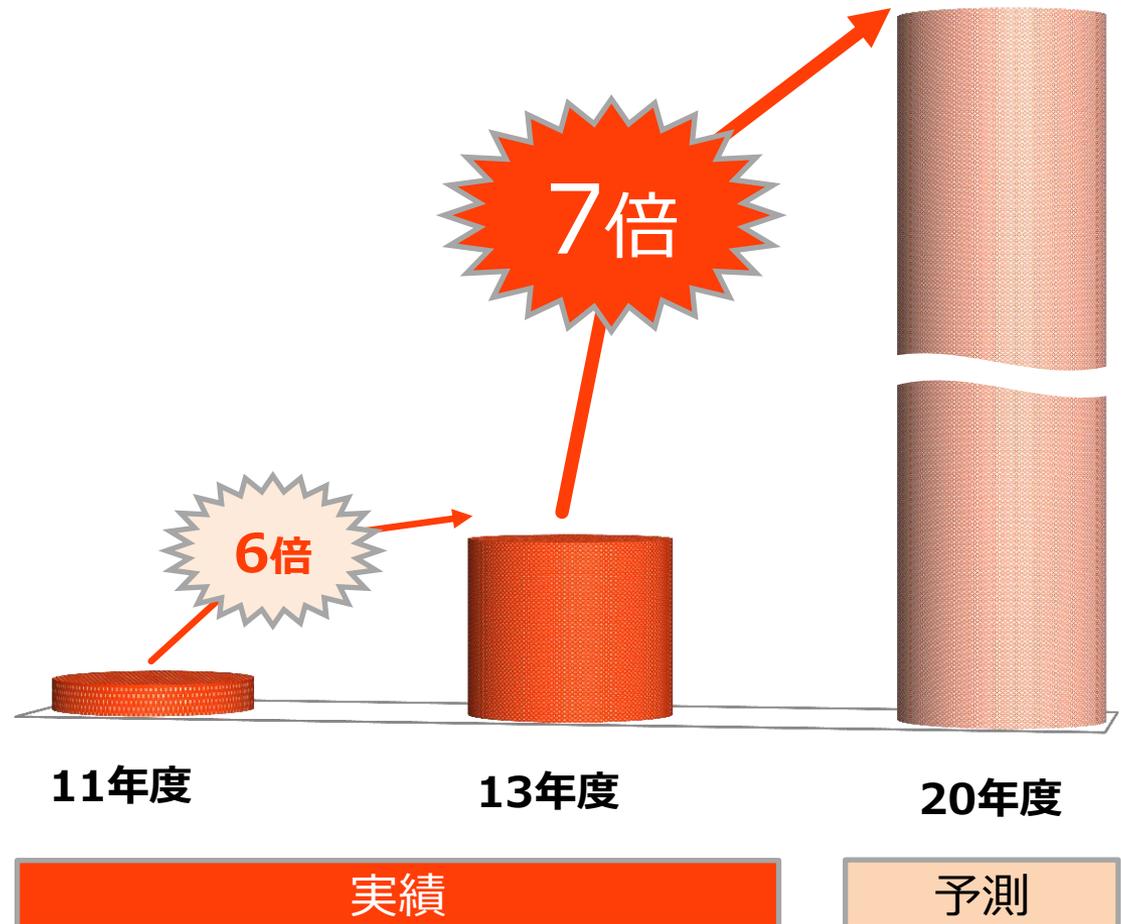
注) (au LTEスマートフォン+au 3Gスマートフォン) ÷ (au契約数からデータ専用端末、タブレット、モバイルを除く)

# 今後のデータトラフィック予測

20年度には13年度比「7倍」に増加する見通し  
～20年度: 11年度比約40倍超に～

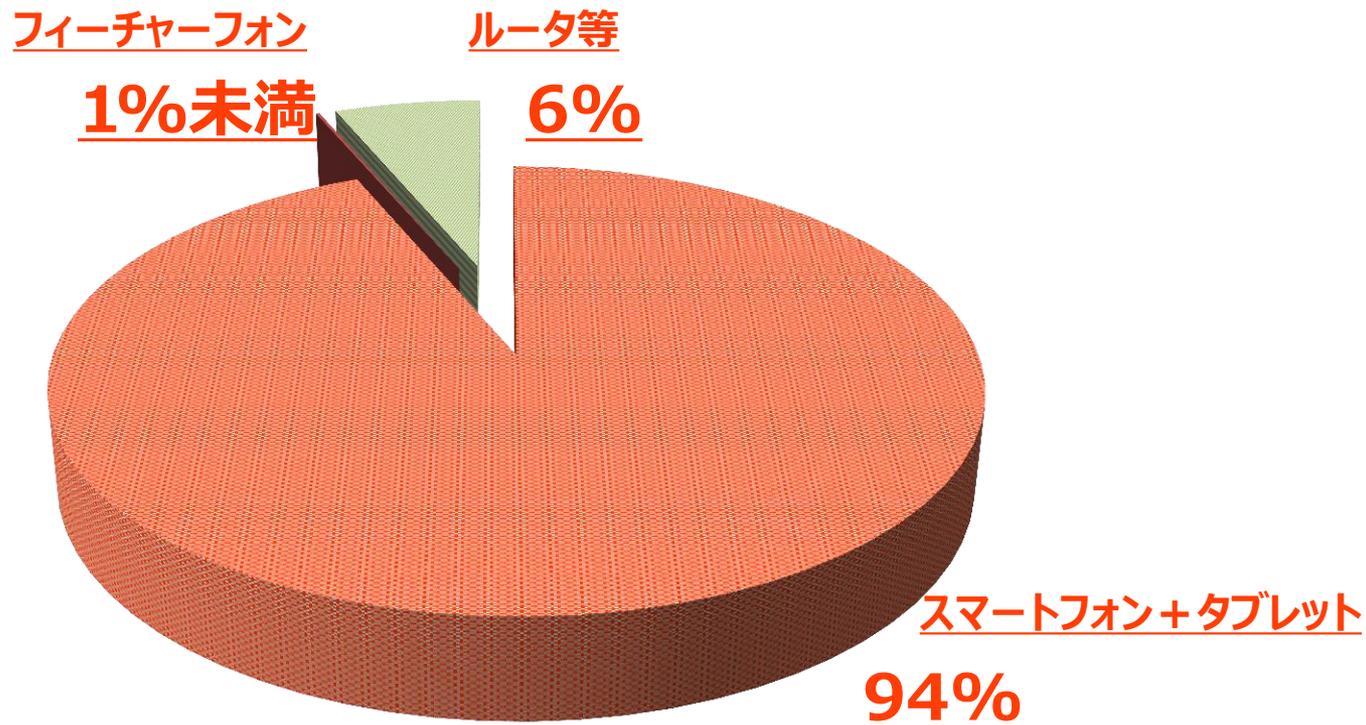
当社のモバイルデータ  
トラフィック実績と予測

\*17年度以降の年平均成長率(CAGR)を  
30%として20年度を予測



## トラヒックの内訳とオフロード比率

20年度にはトラヒックの9割超がスマートフォンとタブレットから発生



20年度にはトラヒックの50%程がオフロードと想定

# 電波の経済的価値を踏まえた周波数割当て についての考え方

- 日本における携帯電話周波数の割当ては、これまで比較審査方式で決定されています。  
その結果、新技術の早期導入や早期のエリア化などが、健全な事業者間競争のなかで促され、さらには周波数の再編を加速するなどバランスの良い制度になっていると考えます。
- オークション方式による割当てについては、その目的と効果、歳入の用途等を明確にし、導入されている諸外国の状況を検証することが重要と考えます。  
さらに、日本で導入した際の効果を十分に検討したうえで、比較審査方式との優劣を国民に示し、現状の税制環境等を踏まえて、改めて広く国民の意見を傾聴すべきと考えます。

- インセンティブオークションについては、オークション実績のない日本において、周波数再編の実効性、健全な競争環境の維持など制度設計の観点でもリスクが大きく、その有効性や合理性について慎重に検討すべきと考えます。

## その他検討課題についての考え方

# 有限希少な国民共有財産を利用して事業を展開する者が果たすべき社会的責任について

# 多くの国民が享受できるように

## “最速”でLTEエリアを整備<sup>注1</sup> 2.1GHz帯は前倒しで拡大

～au 4G LTE 人口カバー率<sup>注2</sup>～

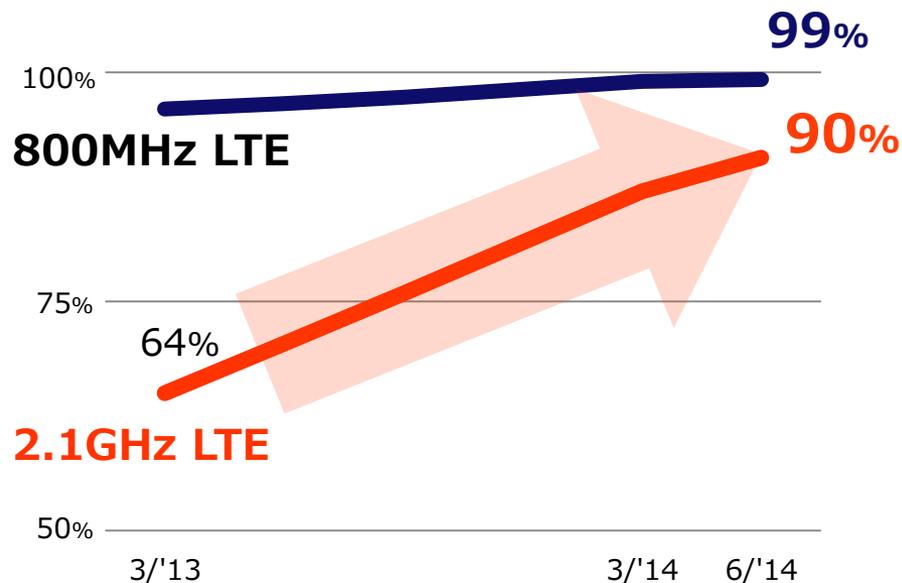
800MHz  
プラチナバンド

**99%**

2.1GHz

**90%**

2014年6月末時点



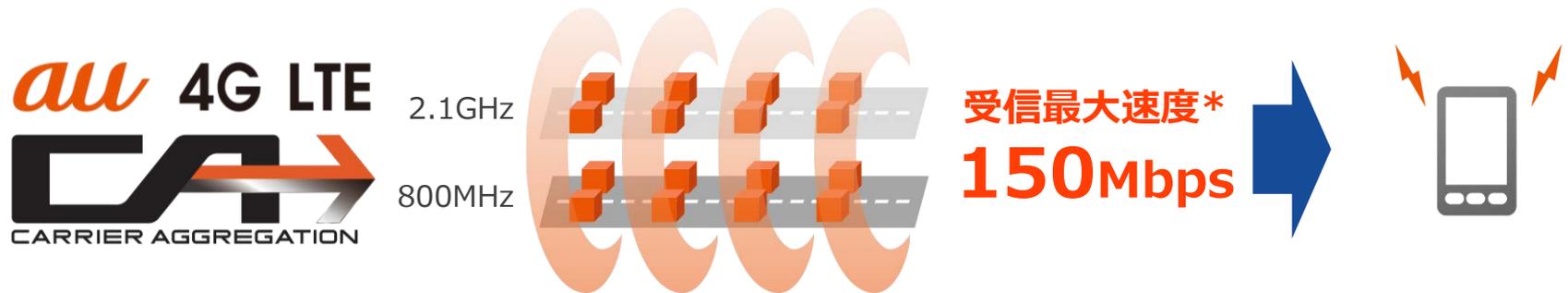
注1) 800MHzプラチナバンドにおける人口カバー率。各社エリアマップを基に当社にて調べた結果に基づく（2014年6月末時点）

注2) 「人口カバー率」は、国勢調査に用いられる約500m区画において50%以上の場所で通信可能なエリアを基に算定。（電気通信サービス向上推進協議会が公表した新基準による）

\*LTEエリア内でも、電波状況により3G通信となる場合またはご利用いただけない場合があります

# 周波数有効利用に向けて

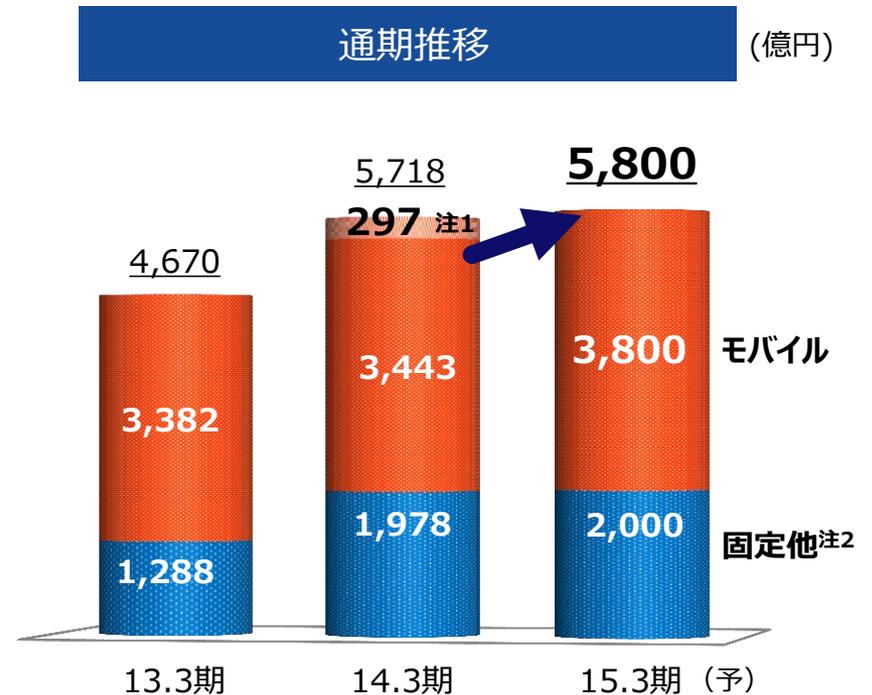
## 「LTE-Advanced (CA)」の導入



\*ご利用地域やご利用端末によって最大通信速度が異なります。記載サービスのエリアは一部です。また、ベストエフォート型サービスです。通信速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。お客さまのご利用環境、回線の状況などにより低下する場合がございます。

# 品質と信頼性を確保するために

15.3期は、  
5,800億円の**設備投資**  
を予想



注1) LTE設備増強のため、追加投資297億円を実施

注2) 14.3期からJ:COM連結影響を含む

# 5G向けの周波数帯について

また、周波数を共用する既存システムがある場合、  
後発参入者として行うべき対応

- 周波数共用の調整を当事者間に全て委ねる形態は、調整に時間を要する可能性があります。  
よって、既存割当免許人との共用調整の仕組み（中立機関の設置等）を制度化することが、周波数の有効利用の観点で望ましいと考えます。
- 時間/地理的に利用状況が異なる複数の免許人が、同一周波数帯を共用できるよう、後発側システムが当該周波数帯の空塞状況を自動的に判定する機能の技術開発などは、1つの策であると考えます。

- 周波数の割り当て時には、電波監理上必要最小限の技術基準のみを規定するに留め、導入する技術方式については、事業者がその範囲内で選択できる仕組みとすることが、新技術の円滑な導入に繋がるものと考えます。
- 品質、信頼性確保及び公明性の観点から、利用者を特定できるライセンスバンドを基本とすべきと考えます。

*Designing The Future*

**KDDI**